

考えよう。
コロナ禍
の人権

不安を差別に つなげちゃいけない。

コロナ対策のつもりが 過剰な反応になっていませんか？

誰もがコロナ禍の不安に包まれています。
不安に飲み込まれて自分の言動が差別や偏見につな
がっていないか、悪意がなくても人権侵害につながる
こともあります。
思い込みが差別や偏見を生みます。
正しい知識・情報に基づいて
行動しましょう。



コロナ禍の偏見

たとえば・・・こんなことがおこりがちです

〇〇さん感染したん
だって。
どうせ夜遊びしてて
感染したんじゃないか？

あなたの奥さん、
病院で働いてるんだよね。
悪いけどしばらく会社
に来ないでくれないか？

配送業者の
子どもは
学校に来ないで。

あの人、〇〇から通勤して
るんだよ。
ウイルス、持ってこないで
ほしいもんだ。

もしも、こんな言葉が
あなたに向けられたら、あなたはどうしますか？

- ★感染者や家族に思いやりを持とう。
- ★思い込みや過剰な反応による偏見・差別はやめよう。→正しい知識と判断を。
- ★社会を支えて働く方々に敬意と感謝を持とう。

～人権を大切にする気持ちと行動が、コロナ禍を乗り切る力になるはずです～

【人権センターからのお知らせ】

第3回ふれあい人権講座

「被差別部落から学んだこと」

～生徒・保護者・教師との出会いから～

日時 6月8日(火)

午後6時～7時30分

会場 日南町人権センター

講師 伊田哲朗さん(下石見)

伊田講師が、兵庫県立高校で教
諭として勤務する間に直面した
「部落問題」。生徒・保護者・教
師との間で起こったこと、体験し
たこと、そうした事実から何を学
べたか、のお話です。近年、イ
メージのみで語られがちになっ
ている「部落問題」の現実を聴き、
考えます。

事前のお申し込みは不要です。
お気軽にお越しください。

6月の人権相談・行政相談

日時 6月11日(金)

午前9時～12時

会場 子育て支援センター

☆予約は不要で秘密は固く守られ
ます。お気軽にお越しください。

